

グラフで見るインド経済 2024年11月号(No. 179)

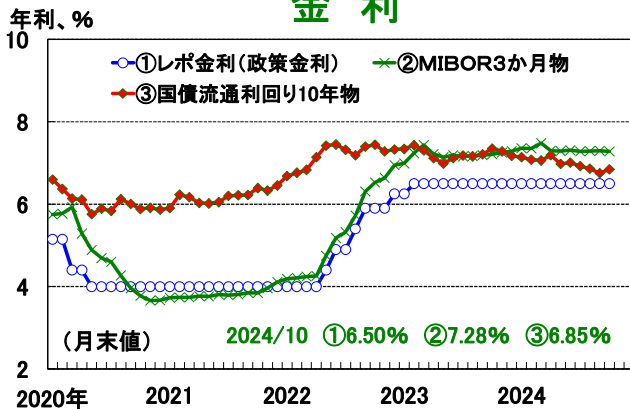
インドの景気は引き続き低調な動きとなっている。まず、内需をみると、9月の新車販売台数(当社試算の季節調整値)が前月比-1.3%と減少するなど、個人消費は足元で弱含んでいる。また外需に関しても、同月の輸出は前年比+0.5%とわずかな増加にとどまった。仕向け地別にみると、米国向けが前年水準を上回ったものの、中国向けは大幅な前年割れが続いている。こうした中、9月のコア産業生産指数は前年比+2.0%と上昇に転じたものの、回復は緩慢である。内訳をみると、セメントが上昇した一方、原油や天然ガスの減産が続いた。

【足元の景気判断】

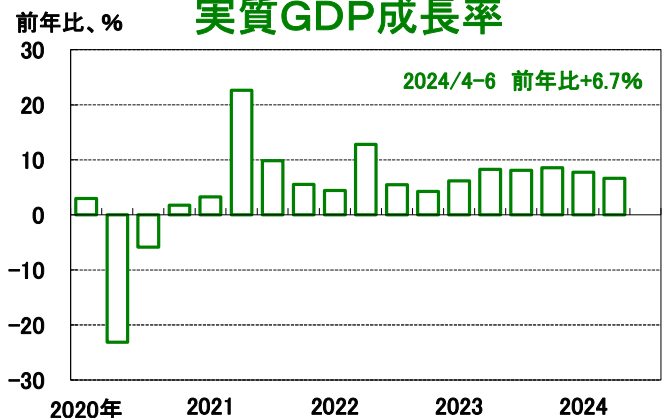
指標	景気全般	輸出	新車販売	コア産業生産	製造業PMI
判断結果					

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

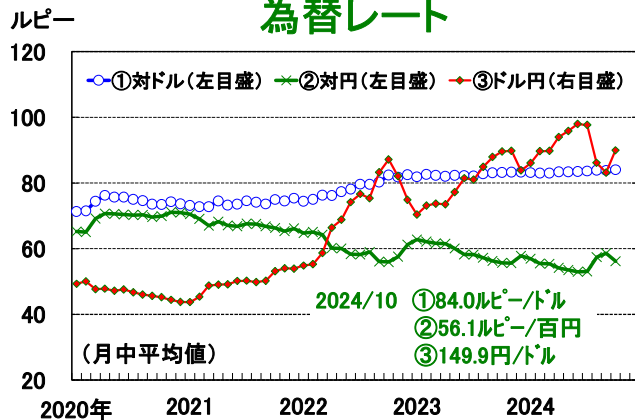
金利



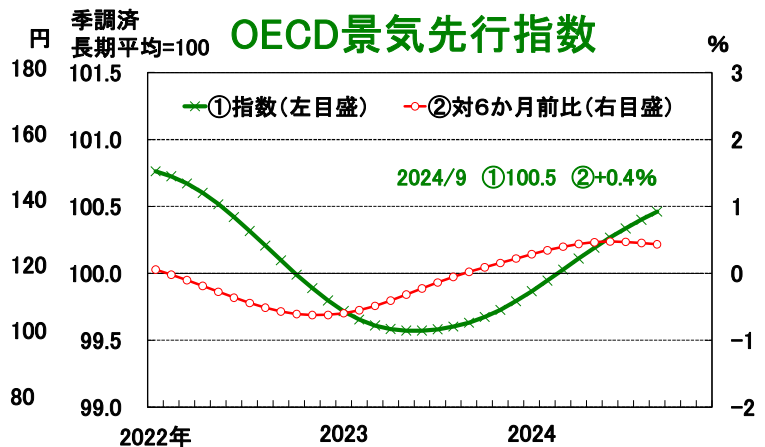
実質GDP成長率



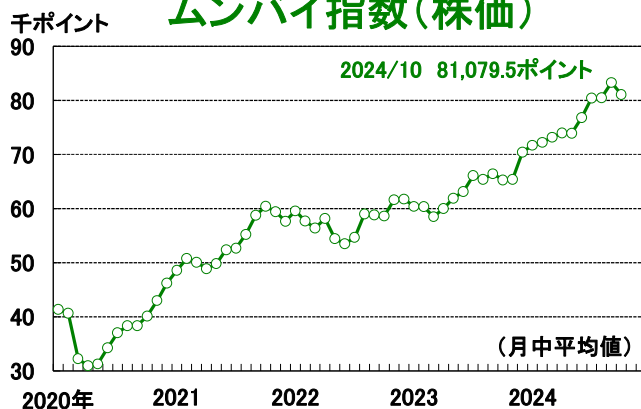
為替レート



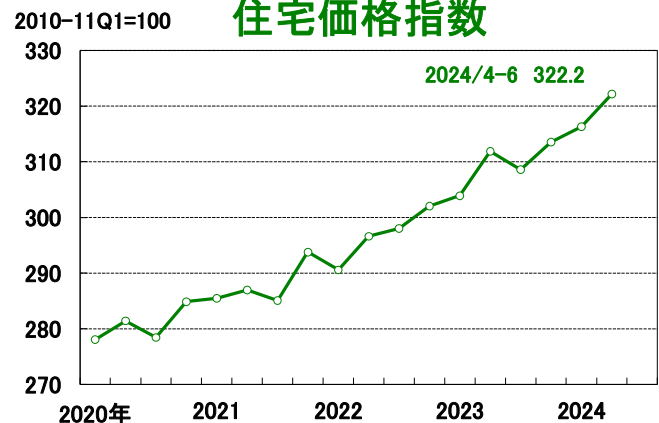
OECD景気先行指数



ムンバイ指数(株価)

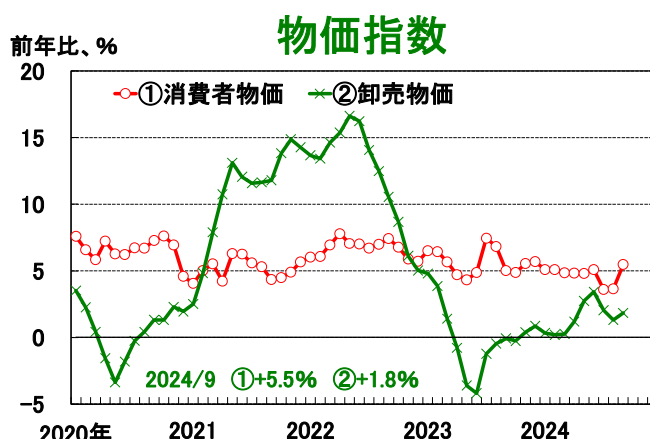
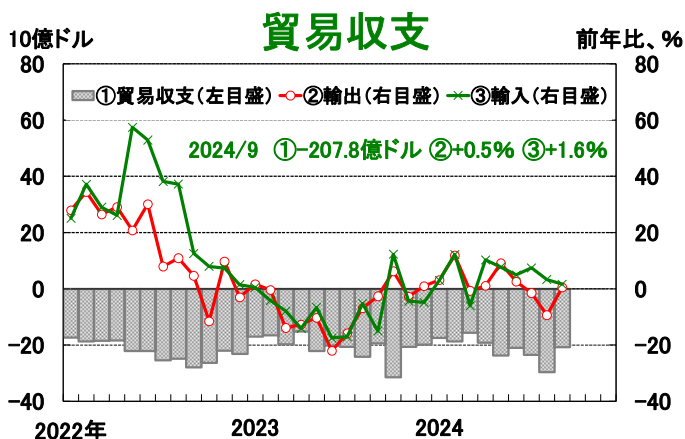
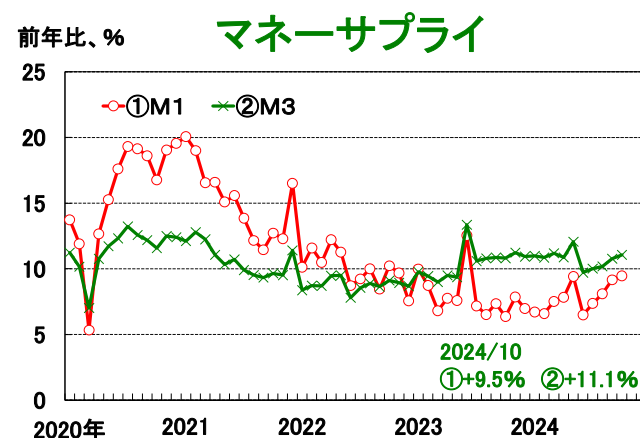
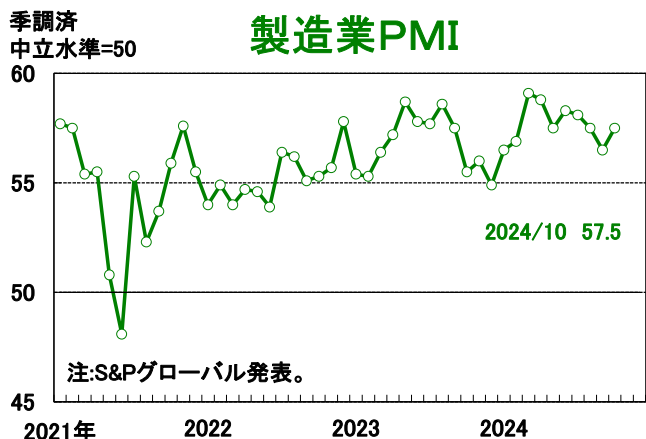
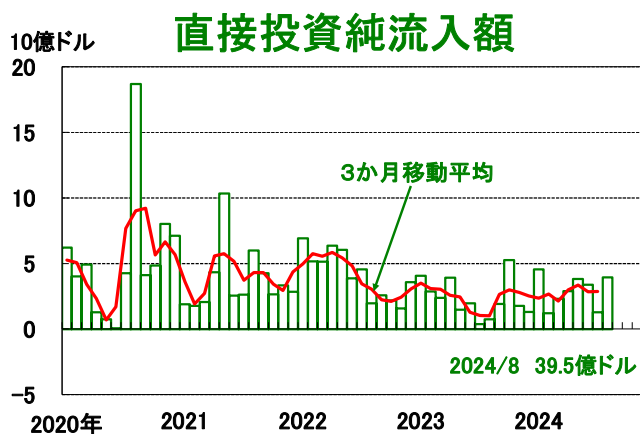
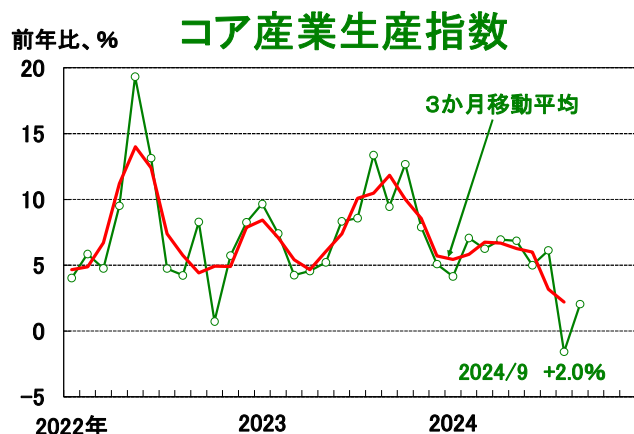
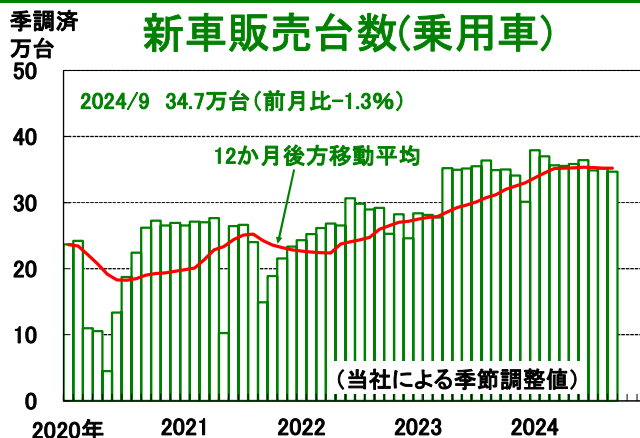
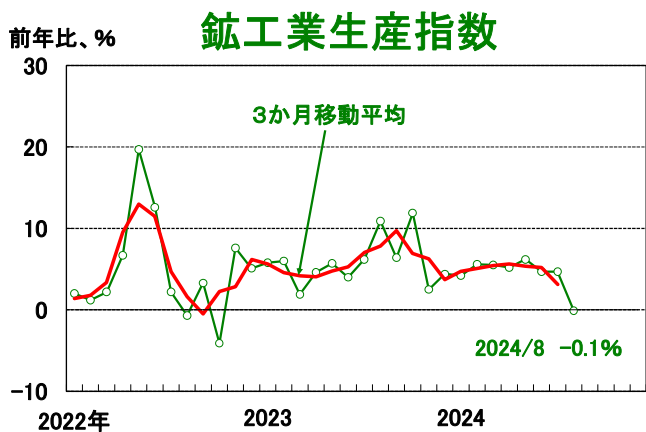


住宅価格指数



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。